

金賞

タイヤチェーン脱着負荷軽減及び安全性向上

[青森県支部]

コマツカスタマーサポート株式会社 東北カンパニー
弘前サービスセンタ 柴 昌志 他3名

【考案の動機】

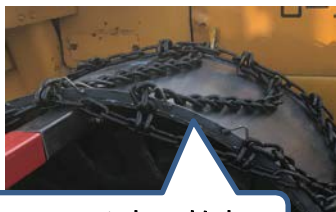
冬期の車両点検時、タイヤチェーン装着車が多く、ブレーキ制動などの測定を正確に行う為、タイヤチェーンの脱着作業が増大する。
その際、ホイールローダー用タイヤチェーンは非常に重量(50kg~100kg)が有り、一人では取付作業が困難となる。
その為、取付時の身体的負荷軽減と安全性向上を狙い、タイヤチェーン取付治具を作製した。

【考案の内容】



鋼板をタイヤ形状に曲げ、端部にフックを溶接した治具を作製、市販エンジンジャッキと組合せて使用する。

- ①ジャッキの最降下位置でチェーンを載せ、フックに掛ける。
- ②ジャッキを適切な高さまで上げて、治具をタイヤ上面に移動。
- ③チェーンをフックから外し、タイヤに掛け、治具を引き抜く。



*フック部の拡大



【考案の効果】

- ①鉄チェーンを取付ける際、重さによる身体的負担が激減し、クレーン作業が出来ないフェンダー装着車両にも対応可能となった。
- ②力に頼る作業とならず、安全性が向上した。
- ③2名で実施していた作業が1名で対応可能となり、作業効率化にも貢献した。

*尚、治具は脱着式の為、エンジンジャッキ本来の機能を失わず、車両整備時に使用出来るようになっている。